

科目名	建築施工実習 2							年度	2025
英語科目名	Building Construction Practice 2							学期	後期
学科・学年	建築学科 2 年次	必／選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	石井 尚樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築施工管理		
【科目の目的】									
・ 建築施工図が読めるようになる。 ・ 建築施工図に必要な各種記号について学ぶ。 ・ 各種設計図をもとに、建築施工図が描けるようになる。									
【科目の概要】									
実在する工事現場を題材にして、建築施工図に描かれている内容を理解できるようになる。さらに、意匠・構造設計図などから必要な情報を読み取り、建築施工図が描けるようになる。									
【到達目標】									
A. 見上げ図の概念が分かり、そこへ描くべき内容が分かる。 B. 図面に描けない内容について適切な記号で表現することができる。 C. 必要な寸法を通り芯と高さの基準から 1 mm 単位で理由付けし、作図することができる。									
【授業の注意点】									
まずは完成している建築施工図を写図することにより、表現の方法や記号に描かれている数値の意味などについて学ぶ。次に、設計図書から必要な情報を読み取り、建築施工図を考えながら描く。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている		レベル 2 ふつう			レベル 1 要努力			
到達目標 A	躯体のフカシやサッシの抱きなど、施工上必要な内容も含めて理解できる。		n 階の柱・壁と n + 1 階の梁・スラブの内容が理解できる			平面図との違いが理解できない。			
到達目標 B	設計図面として表現できない部分を、全て記号を用いて表現できる。		記号に記入するべき断面寸法や高さなどの情報が理解できる			記号へ表示するべき内容がわからない。			
到達目標 C	見上げ図と断面図を用いて、躯体の立体を表現することができる。		全ての寸法を通り芯や高さの基準から寸法付けすることができる。			通り芯や高さの基準から寸法を追い出すことができない。			
【教科書】									
なし。									
【参考資料】									
必要時、プリントを配布する。									
【成績の評価方法・評価基準】									
成果品の評価を 7 0 %、授業への取り組み状況を 3 0 %、として評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

